

湖北

長浜市の新たな名物を開発するため、長浜観光協会が開催したご当地弁当「ハマベン」のコンテストで、「せんなり亭 近江肉 橙」（長浜市元浜町）の「近江肉千成ひょうたん弁当」がグランプリに輝き、1月8日に表彰式があった。

2回目となる今回は「滋賀・長浜」をテーマとした弁当を募集。受賞商品は、弁当箱を長浜城主だった羽柴（豊臣）秀吉の馬印で知られる千成ひょうたんの形にし、同店自慢の近江牛ステーキやシチュー、赤こんにゃくなどを詰めた。秀吉の出世にあやかっただけ、お祝いでの食事にも適している。



「ハマベン」や長浜お土産セレクトのグランプリに輝き、商品を披露する受賞者ら

【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜

「近江肉千成ひょうたん弁当」ご当地弁当グランプリに

慶雲館に「紅白梅図」寄贈
地元の日本画家、堤さん

長浜

長浜市の画家、堤栄さん（71）が1月8日、長浜市港町の慶雲館に日本画「花物語 紅白梅図」を寄贈した。サイズは40号。19、20年に同館で企画展を開催した縁で寄贈することになったという。21年1月から3カ月かけて描いた作品で、春に同館で毎年開催される長浜盆梅展の風景が題材になっている。金箔地に紅梅と白梅が伸びやかに描かれ、絵画下部に描かれた緑がアクセントになっている。



慶雲館に作品を贈呈する堤栄さん（左）

【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜観光協会からお礼にミニ盆梅が渡された。贈呈された作品は今後、長浜盆梅展の時期を除く慶雲館本館の通年公開時に展示される。

湖東

彦根

しやれカルタ大会でにこやかに
中島さんオリジナルの50枚

雷雨どき雨もる借家でしやくやなあ……。そんなしやれの効いたカルタの大会が1月13日、彦根市北老人福祉センターで開かれた。

同市中敷町の元会社員、中島健造さん（78）考案のオリジナルカルタで、十数年前から新春に催している。ユーモラスな文句が読み上げられるたび、にこやかに約50枚の絵札を取り合い、17枚を取った同市芹橋1、小椋秀子さん（73）が優勝した。

【彦根通信部・伊藤信司】

日赤のハートちゃん
ひこにゃんとコラボファイル

彦根



日赤オリジナルファイルの表面（左）と裏面（右）

日本赤十字社県支部彦根市地区（和田裕行地区長）は同市と日赤のキャラクターを組み合わせたクリアファイルを作成した。名称は「ひこにゃん×ハートちゃんコラボオリジナルクリアファイル」でA5サイズ。彦根市福祉セン

ター別館2階（同市平田町）の事務局で500円以上の活動資金協力をすれば、ファイル2枚がもらえる。問い合わせは0749・22・2871。ハートちゃんとは国際活動看護師養成、血液事業など日赤の活動をPRするために誕生した。「熱くやさしい心」を持ち、おでこの赤い十字がトレードマークになっている。「たすけタイガー！」をキャッチフレーズに、多くの苦しんでいる人を救おうとしている。ひこにゃんは毎年1万枚超の年賀状が届く人気キャラクター。今回のファイルは新作図柄を使用している。

【彦根通信部・伊藤信司】